

パチンコ依存、まずは電話を

リカバリーサポートネットワーク

パチンコやパチスロをやめたくてもやめられない。そして「パチンコ依存」に悩む

場所を教えてほしい」「パチンコにのめりこんでいる家族の対応に困り果てた」などの声も寄せられている。

同ネットワークは「家族や友人がやるべきこと、やってはいけないことを落ち着いて整理するためにも、まずは電話を」と話している。

「リカバリーサポートネットワーク」の電話は050・3541・6420。相談は無料だが、通話料は自己負担。常時3人の相談員が平日の午前10時～午後4時に受けている。

紀伊生活

2006年4月の開設以来、09年3月末までに3022件の相談が全国から寄せられ、和歌山県からも17件あった。同ネットワークは「問題が深刻化する前に一度、電話くたさい」と呼び掛けている。

代表の西村直之さんは依存問題に詳しい精神科医。ほかに弁護士や精神保健福祉士らが運営に参加している。相談内容によって、地域の精神保健福祉センターや相互援助グループなどを紹介する。

この3年間の相談は、本人からの電話が52%、家族・友人からが38%だった。また、全体の54%が、パチンコが原因で借金をしていた。

相談内容は、パチンコをやめる方法（やめさせる方法）が最も多かった。「やめられないので、地元で相談できる